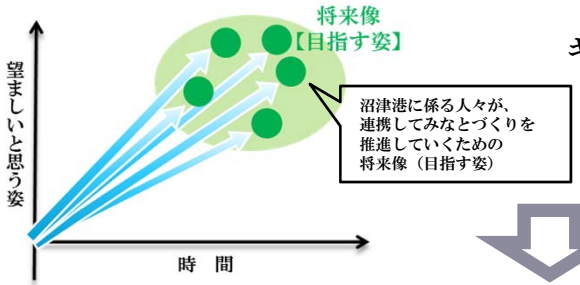
【沼津港の果たす役割】
沼津港が公共空間として長期に亘り魅力を発揮し、地域の人々が憩うとともに、沼津市はもとより県東部・伊豆地域の発展の核となる。

10年後
20年後

将来像（目指す姿）の（案）策定委員会とりまとめ

○ここにしかない沼津港の魅力（「食」、「港町・市場」、「景観」）が最大限に発揮されている
○地域住民が愛し、誇りを持って集う場となっている
○港の活力が中心市街地、西伊豆地域、中伊豆地域へとつながっている



キャッチコピー（案）

本物の味、風景がいざなう沼津港

◎整合性
◎連続性
◎一体性

◎今ある機能を高める
◎不足する機能を補う
◎新たな機能を追加する

沼津港が発揮すべき機能

場の力

沼津港らしい「魅力」「集い」「つながり」

市場　飲食　物販　親水　保養　癒し
学習　情報　交流　交通

港の基本機能

乗降　荷役　保管

人の力

機能を最大限に発揮する方策（例）

Ⅰ　魅力

（食）

・駿河湾の豊富な海産物を駆使した沼津独自の「食」の魅力を高めつつ、海産物に限らない地場の良質な食材も提供し、素材を活かした多様なジャンルの料理への展開など、本物志向・健康志向のニーズに応えていく。

（市場）

・歴史ある漁港の核となる市場を維持し、市場で活躍する人たちの場を将来に亘り確保していく。

（風景）

・内港から眺める富士山と牧水らが愛した千本松原の借景を最大限に活かし、自然と調和した港町の風景を演出する。

Ⅱ　集う

・地元の人が集い、楽しむ場を用意し、人々が自主的な活動を行うことを支援する。

Ⅲ　つながる

・港の魅力に加え、中心市街地、西伊豆地域や中伊豆地域の魅力を一体的に提供するコンシェルジュを用意し、アンテナショップ等の運営を委ねる。